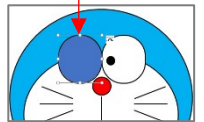


パソコンで遊ぶ「ドラえもん福笑い」

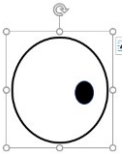
- ① 「つなが〜るパソコンテキスト一覧」から「ドラえもん」の絵をパソコンに取り込んでおく。又はデスクトップの「2020 パソコン講座→写真」フォルダの絵を使用する
- ② ワードを起ち上げ「ドラえもん」の絵を挿入する
- ③ 前面にしてから、A4サイズの横幅いっぱい拡大し、上下の位置を整え「完成品」と名前を付けて保存する（閉じない）
- ④ ファイル → 新規(作成)で新しいワードを開き、「部品」と名前を付けて保存、最小化する
- ⑤ 「完成品」のドラえもんの絵が動かないように気をつけながら、福笑いの各部品を 次の手順で作る



1. 挿入 → 図形 で「円/楕円」を取り、ドラえもんの右目と同じサイズの円を描き、塗りつぶし白、枠線黒、太さ 2.25 ポイントにする



2. 同じく図形の円で黒目を描く（見えている左目の黒目を見ながら、ほぼ同じ形、サイズ、位置にする）

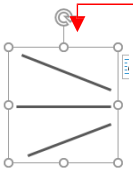


3. 1. と 2. で描いた白目と黒目をグループ化してその部分だけをコピーする（「完成品」の上に描いた右目はそのまま残しておく）

4. ④で最小化していた「部品」を開いて、ホーム → 貼りつけ（または右クリック → 貼り付け）で 3. の右目を貼りつける

5. 3 ページの「部品」を参考に右目を適当な位置に置き、Ctrl キーでコピーして左目を作り左右反転させて適当な位置に置く

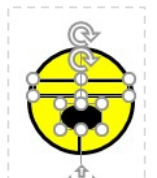
6. 「部品」を最小化させ、同様の方法で右ひげ 3 本を図形の直線で作成してグループ化し、コピー（または切り取り）して「部品」に貼りつけ、コピーで増やし左右反転させて左ひげを作る



7. 同様に、鼻、口、ポケットを作ってコピー（または切り取り）して「部品」に貼りつける（口とポケットは図形の「部分円(パイ)」を使用して「半円」を作る。「弧」または「アーチ」でもよい）



8. 「鈴」は「完成品」の鈴の上で同じ大きさの円を描き、そっと絵の外に置いて「完成品」を見ながら同じ鈴を作りグループ化して、コピーを「部品」に貼る（「完成品」の上に描いた「鈴」はそのまま残しておく）



9. 「部品」全体を整え上書き保存する

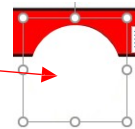
⑥ 次に完成品から部品を除いた「台紙」を次の手順で作る

1. 右目の上でそっとクリックし⑤で作った右目だけを選択する(ドラえもん全体の絵が選択されないように注意)

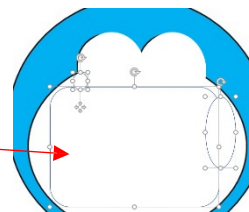
2. 枠線を白に、黒目を削除(または白に)し、それを Ctrl キーでコピーして左目の上に置き、左右の目の部分を白く抜く (3 ページの「台紙」参照)



3. 次に、絵の外に置いていた「鈴」を移動させて、完成品の鈴の上にぴったり載せ、すべての枠線と塗りつぶしを白にして、「鈴」の部分を抜く



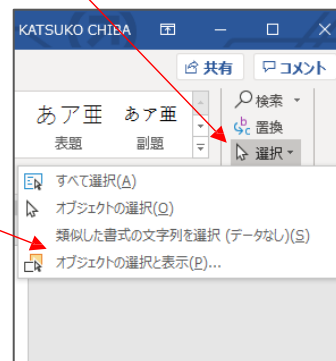
4. 顔の他の部分を、円や四角形(またはテキストボックス)等で囲み塗りつぶし白、枠線白(または無し)にして顔の部品をすべて白く抜いたように見せる



5. お腹のポケットは、図形の「部分円(パイ)」または「弧」、「アーチ」を使用して囲み、塗りつぶし白、枠線白(または無し)にしてポケットを抜く



6. 元の絵とその上に載せたすべての図形等を選択し(ホーム → 選択 → オブジェクトの選択と表示 をクリック、Ctrl キーを押しながら表示されたすべてのオブジェクトを順にクリックする) グループ化する



7. これで台紙が出来たので「台紙」と名前を付けて保存する

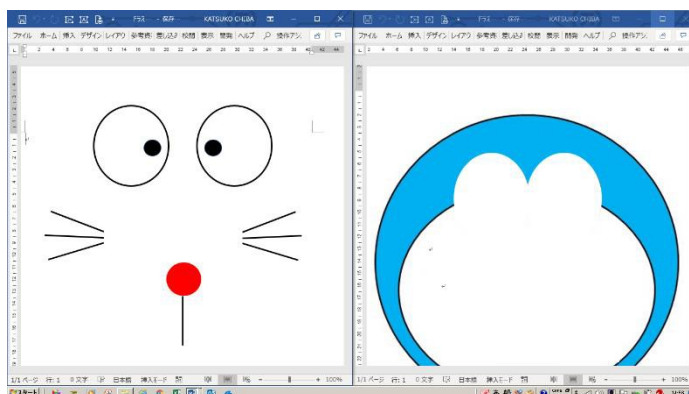
⑦ 「完成品」、「部品」、「台紙」の3つを1つのフォルダに入れてフォルダの名前を「ドラえもん福笑い」とする(先に取り込んだ doraemon の絵もここに入れてもよい)

遊び方

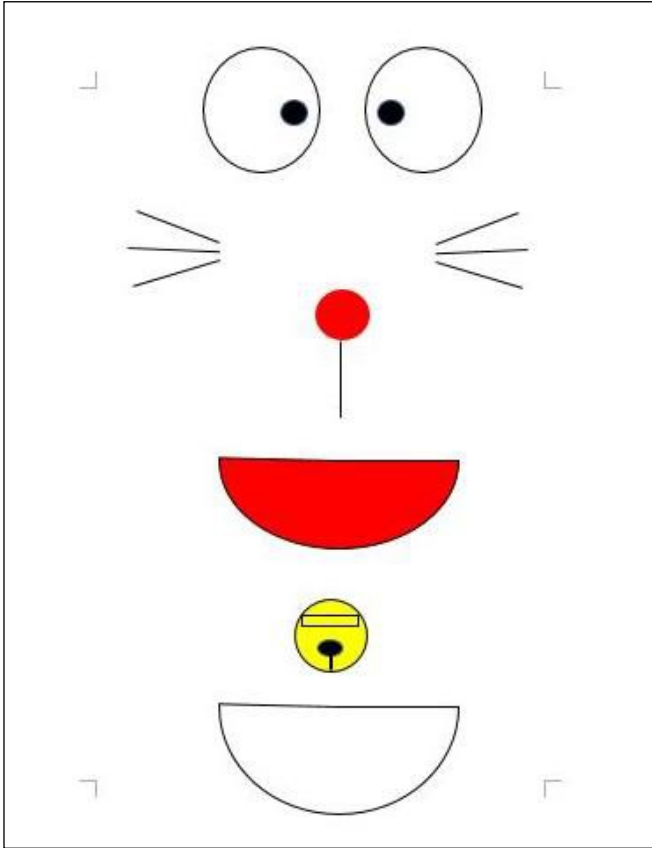
① 「台紙」と「部品」を開き、画面の左右に両方が見えるように配置する

② 「よーいどん」で「部品」を順にコピーし、台紙の適当な位置にきちっとおいて完成させる(台紙が動かないよう慎重に)

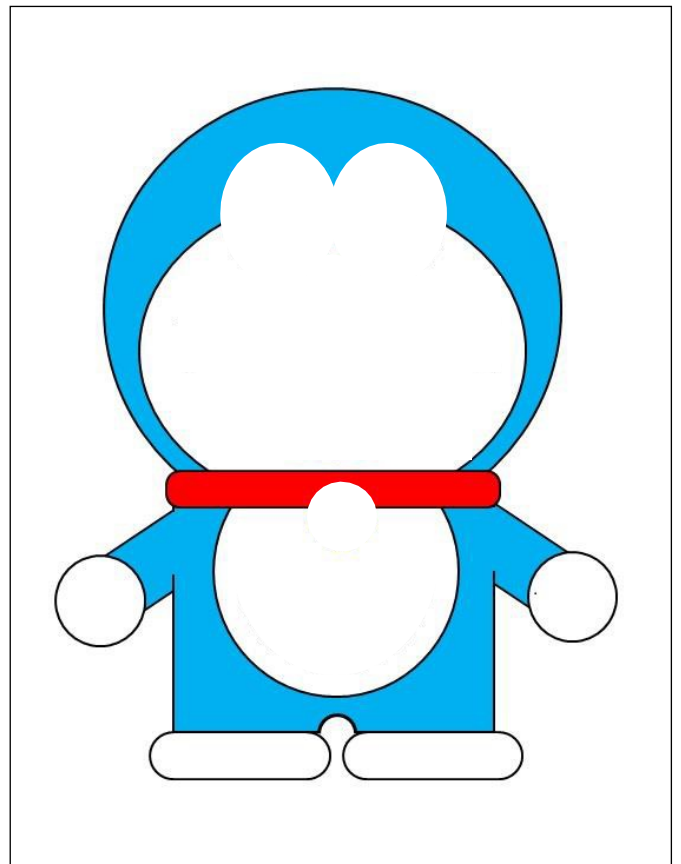
※ 完成までの時間を競う、または、決められた時間内での完成度を競う



《部品》



《台紙》



《完成品》

